



学校だより

4月号 令和7年4月8日発行

朝霞市立朝霞第一中学校
〒351-0013朝霞市膝折2-31
TEL: 048-461-0076
FAX: 048-467-4741
E-mail: 1chuu@asaka-s.ed.jp

目指す学校像 **希望を胸に未来へ前進する学校**



3年後の稽古



校長 唐松 善人

保護者の皆様方におかれましては、お子様のご入学・ご進級、誠にありがとうございます。また、地域の皆様方には、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解・ご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

本年度で79年目を迎える本校は、909名の生徒でスタートしました。282名の新1年生をはじめ、生徒たちの表情には、入学・進級した喜びと自信が見られ、学校は活気に満ちています。

本校では、令和7年度の校訓、学校教育目標、目指す学校像及び目指す生徒像を以下のように設定しました。この学校教育目標を大きな羅針盤として、本校の全教職員が一丸となって、生徒一人一人のよりよき成長のために全力を尽くす所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

【校訓】 自立・貢献・信頼

【学校教育目標】
・自ら学ぶ生徒（知）
・思いやりのある生徒（徳）
・健康に努める生徒（体）

【目指す学校像】 希望を胸に未来へ前進する学校

【目指す生徒像】 夢を実現する一中生

さて、以前、テレビで将棋の番組を見ていたところ、引退をした棋士が、御自身の厳しかった修行時代の経験談を話されていました。プロの世界で勝つために、毎日、10時間以上もの稽古に励んでいたのだそうです。その棋士の話の中で印象的であったのが、「3年後の稽古」という言葉です。今日苦しい稽古をしてもすぐには強くなれないが、今日苦しい稽古をすることで3年後には成長した自分を形成することができるという意味なのだそうです。この言葉は、将棋界だけではなく、相撲などの厳しい勝負の世界でも使われているそうです。

本校においても、入学・進級をした生徒一人一人がどのような成長した姿で卒業式を迎えられるのかを見通して、教育活動を意図的・計画的に実施することが大切であると考えます。そのためにも、学校教育目標・目指す学校像を大きな羅針盤として、本校の全教職員が一丸となって、生徒一人一人のよりよき成長のために全力を尽くす所存です。

